

### 7 - 3 計画フレーム

将来貨物量は、木更津港の8割以上を占める主要品目（LNG、鉄鉱石、砂利・砂、石炭、鋼材）の取扱企業と大型岸壁を利用する企業及び新規企業に対しアンケート及びヒアリングを実施した。

アンケート及びヒアリングは、平成20年12月～平成21年2月の間に実施した。

#### (1) 目標年次

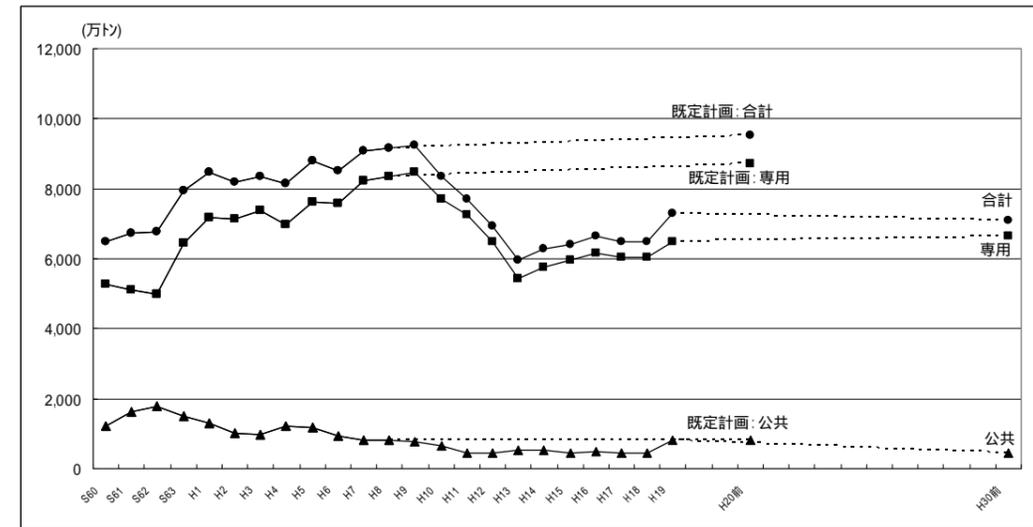
目標年次：概ね平成30年代前半

#### (2) 取扱貨物量の見通し

将来貨物量：70,660千トン(H19の3%減)

- ・公共貨物：4,560千トン
- ・専用貨物：66,100千トン

取扱貨物量の見通しは現時点での推計結果であり、今後変更することもある。



木更津港取扱貨物量の見通し

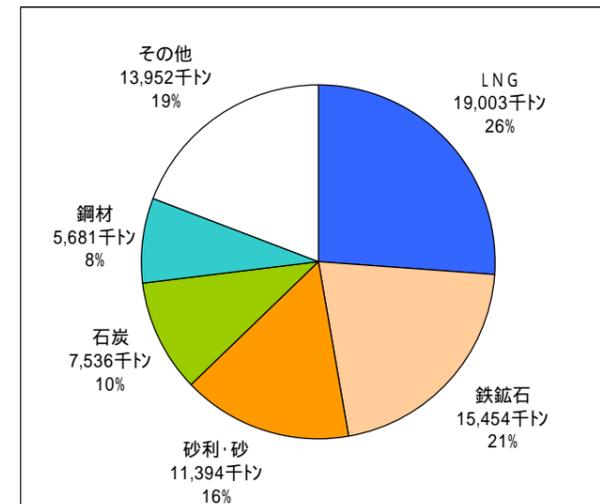
(千トン)

外内別	公専		実績値									(設定値)	既定計画値		
			H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	30年代前半	H20年前半	
外 貿	公共	輸出	266	289	201	258	227	163	74	45	71	131	475	280	
		輸入	29	22	105	82	47	117	174	207	564	488	391	374	
		計	295	311	306	340	274	280	248	252	635	619	866	654	
	専用	輸出	2,394	1,884	1,819	2,139	3,409	2,628	2,692	2,509	2,776	3,396	3,461	1,800	
		輸入	43,474	41,667	38,878	34,740	37,096	39,140	40,392	39,675	39,238	42,306	43,262	53,802	
		計	45,868	43,551	40,697	36,879	40,505	41,768	43,084	42,184	42,014	45,702	46,723	55,602	
	計	輸出	2,660	2,173	2,020	2,397	3,636	2,791	2,766	2,554	2,847	3,527	3,936	2,080	
		輸入	43,503	41,689	38,983	34,822	37,143	39,257	40,566	39,882	39,802	42,794	43,653	54,176	
		計	46,163	43,862	41,003	37,219	40,779	42,048	43,332	42,436	42,649	46,321	47,589	56,256	
	内 貿	公共	移出	4,873	3,188	3,186	3,434	3,775	2,671	2,897	2,587	2,242	6,367	2,622	6,124
			移入	1,252	989	1,083	1,461	1,415	1,543	1,774	1,480	1,437	1,240	772	1,400
			計	6,125	4,177	4,269	4,895	5,190	4,214	4,671	4,067	3,679	7,607	3,394	7,524
専用		移出	22,864	21,023	16,017	10,317	10,171	10,586	11,286	10,998	10,475	10,769	11,247	23,370	
		移入	8,420	8,009	7,976	6,996	6,791	7,202	7,373	7,255	8,031	8,323	8,430	8,183	
		計	31,284	29,032	23,993	17,313	16,962	17,788	18,659	18,253	18,506	19,092	19,677	31,553	
計		移出	27,737	24,211	19,203	13,751	13,946	13,257	14,183	13,585	12,717	17,136	13,869	29,494	
		移入	9,672	8,998	9,059	8,457	8,206	8,745	9,147	8,735	9,468	9,563	9,202	9,583	
		計	37,409	33,209	28,262	22,208	22,152	22,002	23,330	22,320	22,185	26,699	23,071	39,077	
合 計		輸出	2,660	2,173	2,020	2,397	3,636	2,791	2,766	2,554	2,847	3,527	3,936	2,080	
		輸入	43,503	41,689	38,983	34,822	37,143	39,257	40,566	39,882	39,802	42,794	43,653	54,176	
		移出	27,737	24,211	19,203	13,751	13,946	13,257	14,183	13,585	12,717	17,136	13,869	29,494	
	移入	9,672	8,998	9,059	8,457	8,206	8,745	9,147	8,735	9,468	9,563	9,202	9,583		
	計	83,572	77,071	69,265	59,427	62,931	64,050	66,662	64,756	64,834	73,020	70,660	95,333		

注：平成12年以前の一部品目は、数量が確定しないものがある

#### (3) 主要貨物の見通し

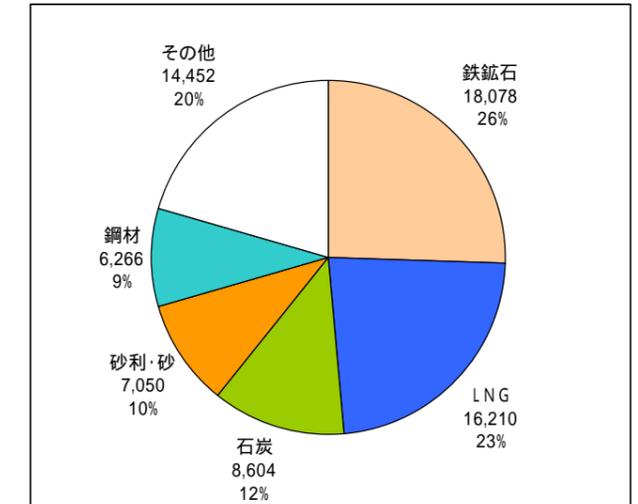
平成19年 品目別取扱貨物量(公専計)



	平成19年
公共	8,226 (11.3%)
専用	64,794 (88.7%)
合計	73,020 (100.0%)

	LNG	鉄鉱石	砂利・砂	石炭	鋼材
公共			64%		2%
専用	100%	100%	36%	100%	98%

平成30年代前半 品目別取扱貨物量(公専計)



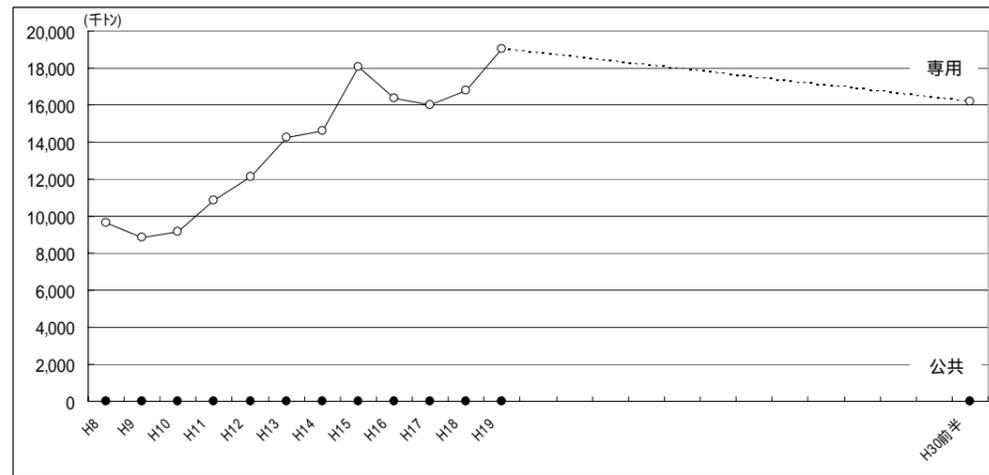
	平成30年代前半
公共	4,260 (6.0%)
専用	66,400 (94.0%)
合計	70,660 (100.0%)

	鉄鉱石	LNG	石炭	砂利・砂	鋼材
公共				42%	6%
専用	100%	100%	100%	58%	94%

L N G

L N G 貨物取扱貨物量の推移及び将来見通し

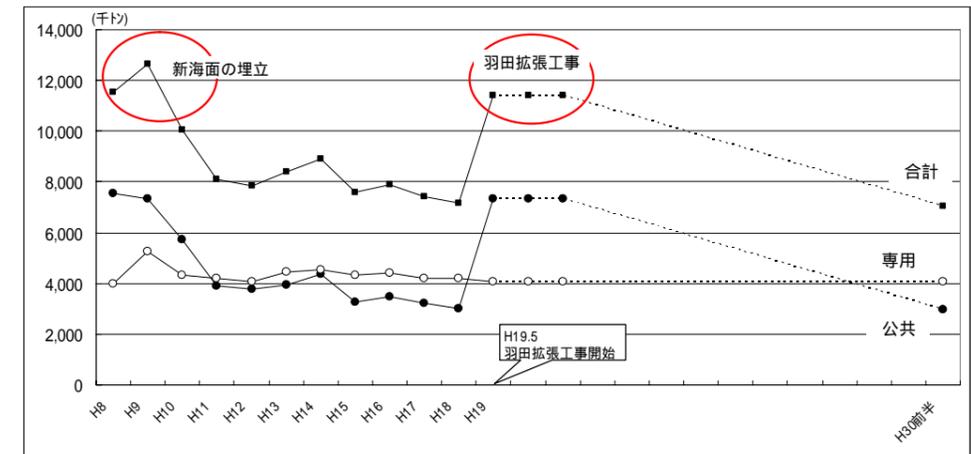
		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共															
専用	輸出														
	輸入	9,664	8,852	9,160	10,865	12,129	14,235	14,615	18,068	16,389	15,994	16,791	19,003	16,210	21,690
	計	9,664	8,852	9,160	10,865	12,129	14,235	14,615	18,068	16,389	15,994	16,791	19,003	16,210	21,690



砂利・砂

砂利・砂取扱貨物量の推移及び将来見通し

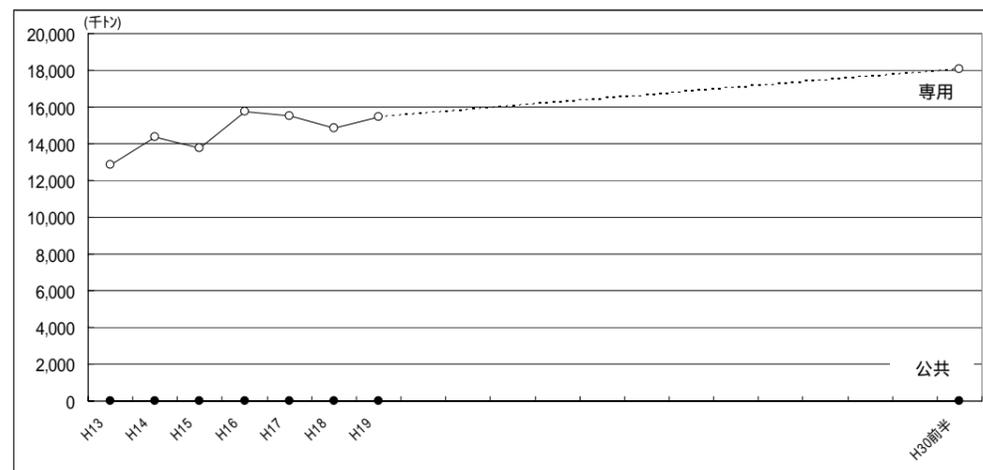
		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共	移出	6,326	5,929	4,840	3,164	3,164	3,380	3,744	2,597	2,843	2,561	2,218	6,345	2,590	6,000
	移入	1,220	1,426	868	752	623	571	612	671	643	681	780	979	390	1,100
	計	7,546	7,355	5,708	3,916	3,787	3,951	4,356	3,268	3,486	3,242	2,998	7,324	2,980	7,100
専用	移出	3,521	4,911	3,796	4,003	4,070	4,460	4,542	4,325	4,380	4,203	4,185	4,070	4,070	3,500
	移入	479	369	532	199	9	2	1	0	15	0	0	0	0	480
	計	4,000	5,280	4,328	4,202	4,079	4,462	4,543	4,325	4,395	4,203	4,185	4,070	4,070	3,980
計	移出	9,847	10,840	8,636	7,167	7,234	7,840	8,286	6,922	7,223	6,764	6,403	10,415	6,660	9,500
	移入	1,699	1,795	1,400	951	632	573	613	671	658	681	780	979	390	1,580
	計	11,546	12,635	10,036	8,118	7,866	8,413	8,899	7,593	7,881	7,445	7,183	11,394	7,050	11,080



鉄鉱石

鉄鉱石取扱貨物量の推移及び将来見通し

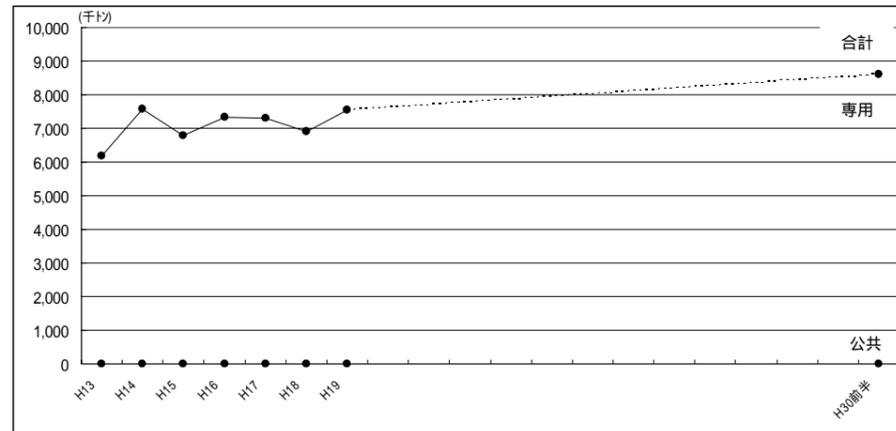
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共										
専用	輸出									
	輸入	12,865	14,345	13,780	15,782	15,528	14,783	15,452	18,078	20,000
	移出	2	2							7,000
	移入	2					53	2		
	計	12,869	14,347	13,780	15,782	15,528	14,836	15,454	18,078	27,000



石炭

石炭取扱貨物量の推移及び将来見通し

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共	輸出									
	輸入	3	7		5	3	3			
	移出									
	移入	1								
	計	4	7		5	3	3			
専用	輸出									
	輸入	6,195	7,582	6,770	7,315	7,312	6,918	7,536	8,604	12,000
	移出									6,000
	移入				4	10				
	計	6,195	7,582	6,774	7,325	7,312	6,918	7,536	8,604	18,000
計	輸出									
	輸入	6,198	7,589	6,770	7,320	7,315	6,921	7,536	8,604	12,000
	移出									6,000
	移入	1			4	10				
	計	6,199	7,589	6,774	7,330	7,315	6,921	7,536	8,604	18,000

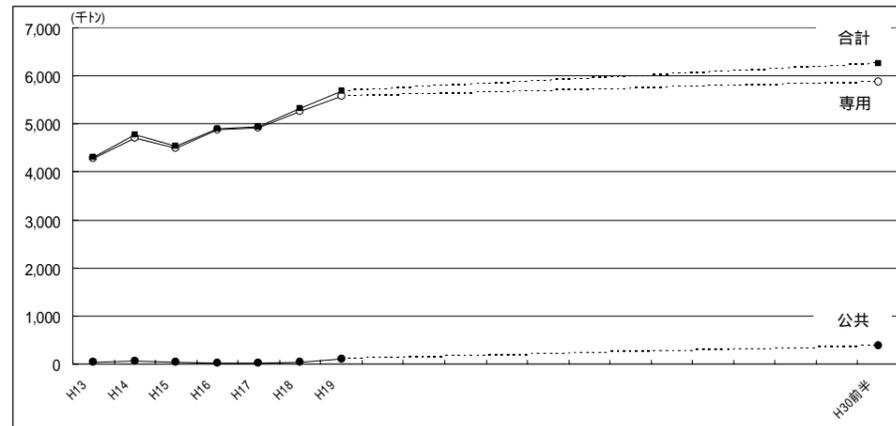


鋼材

鋼材取扱貨物量の推移及び将来見通し

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共	輸出	25	41	23	7	11	29	77	360	
	輸入						1			
	移出	8	13	17	10	13	13	11	11	
	移入				8	1	6	16	16	
	計	33	54	40	25	25	49	104	387	
専用	輸出	1,730	2,471	2,079	2,237	2,066	2,261	2,376	2,491	
	輸入									
	移出	2,392	2,206	2,331	2,605	2,799	2,974	3,133	3,322	
	移入	155	42	88	40	49	32	68	66	
	計	4,277	4,719	4,498	4,882	4,914	5,267	5,577	5,879	
計	輸出	1,755	2,512	2,102	2,244	2,077	2,290	2,453	2,851	
	輸入						1			
	移出	2,400	2,219	2,348	2,615	2,812	2,987	3,144	3,333	
	移入	155	42	88	48	50	38	84	82	
	計	4,310	4,773	4,538	4,907	4,939	5,316	5,681	6,266	

注：H8～H11の取扱貨物量は鉄鋼と鋼材の合計貨物量である。（平成12年以降、品目分類が54品目から81品目に変更）

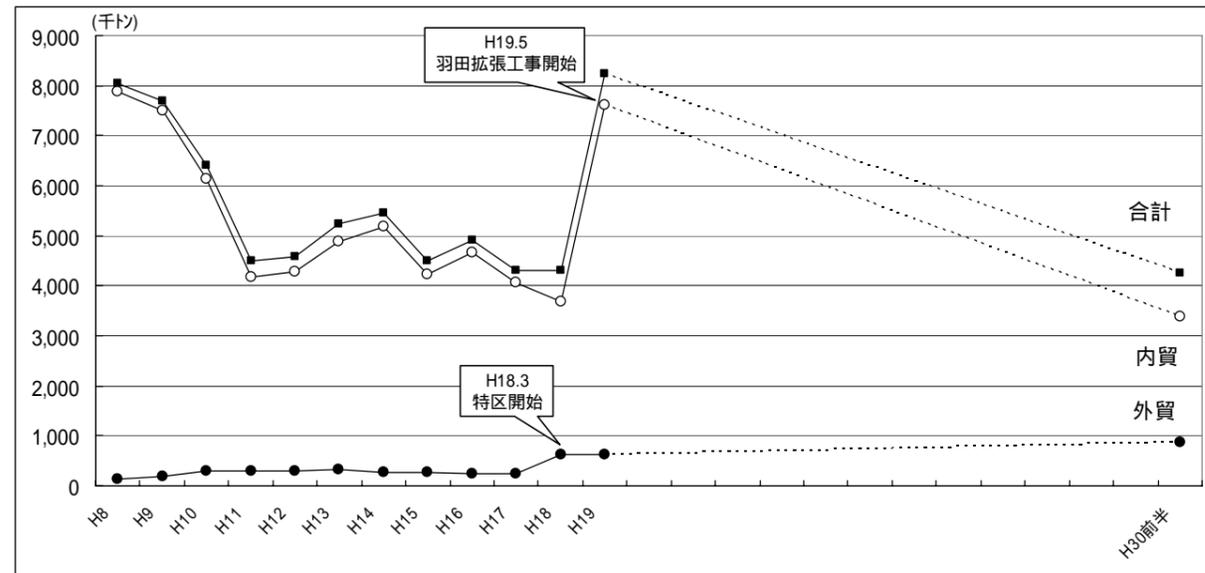




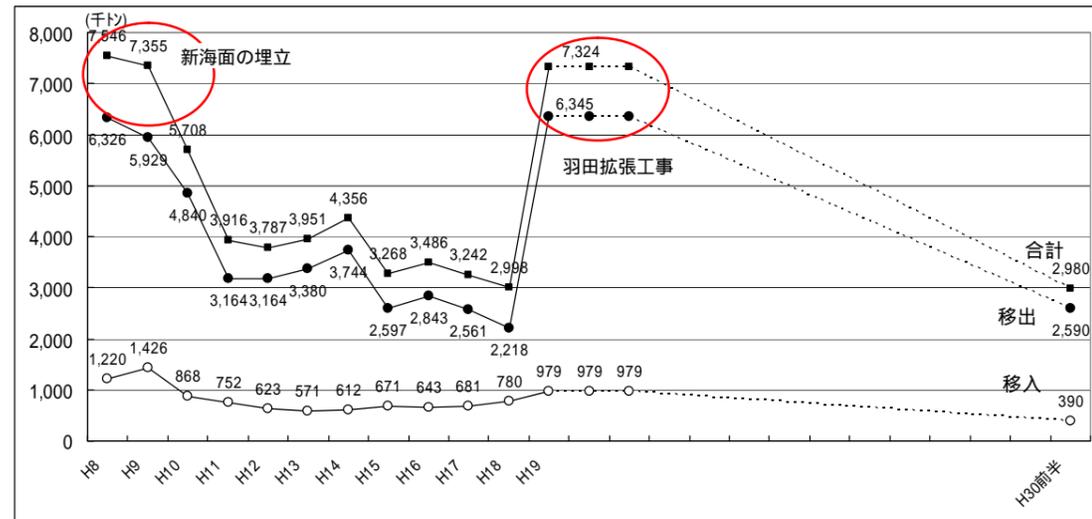
公共取扱貨物量の推移及び将来見通し

(千トン)

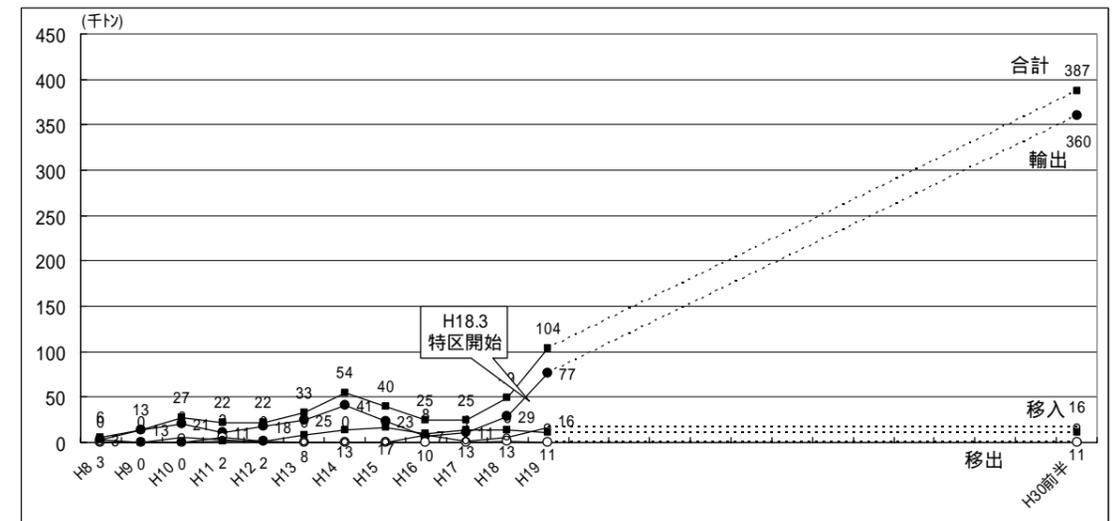
		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(設定値) 30年代前半	既定計画値 H20年前半
公共	外貿	144	200	295	311	306	340	274	280	248	252	635	619	866	645
	内貿	7,892	7,497	6,125	4,177	4,269	4,895	5,190	4,214	4,671	4,067	3,679	7,607	3,394	7,524
	計	8,036	7,697	6,420	4,488	4,575	5,235	5,464	4,494	4,919	4,319	4,314	8,226	4,260	8,169



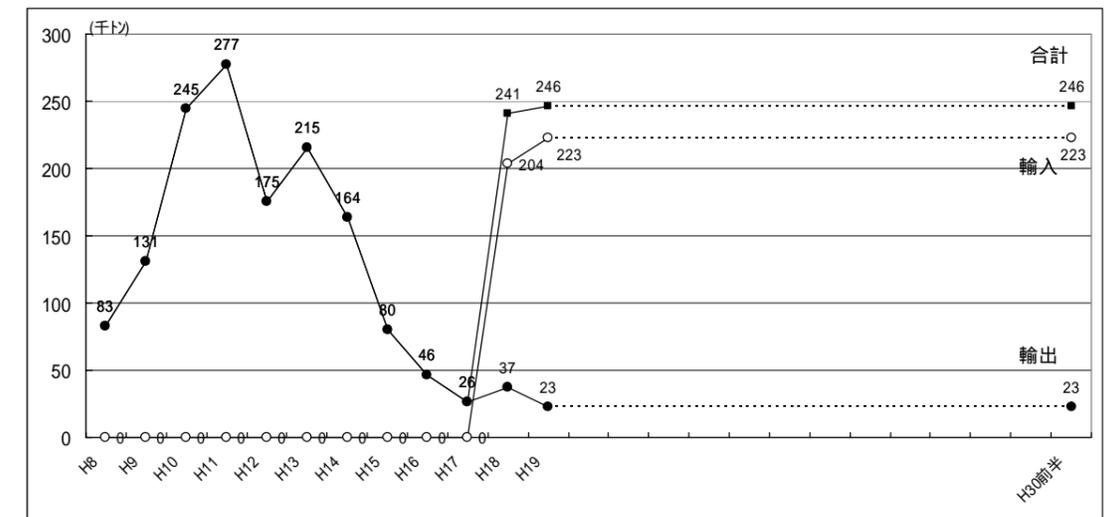
砂利・砂（公共）



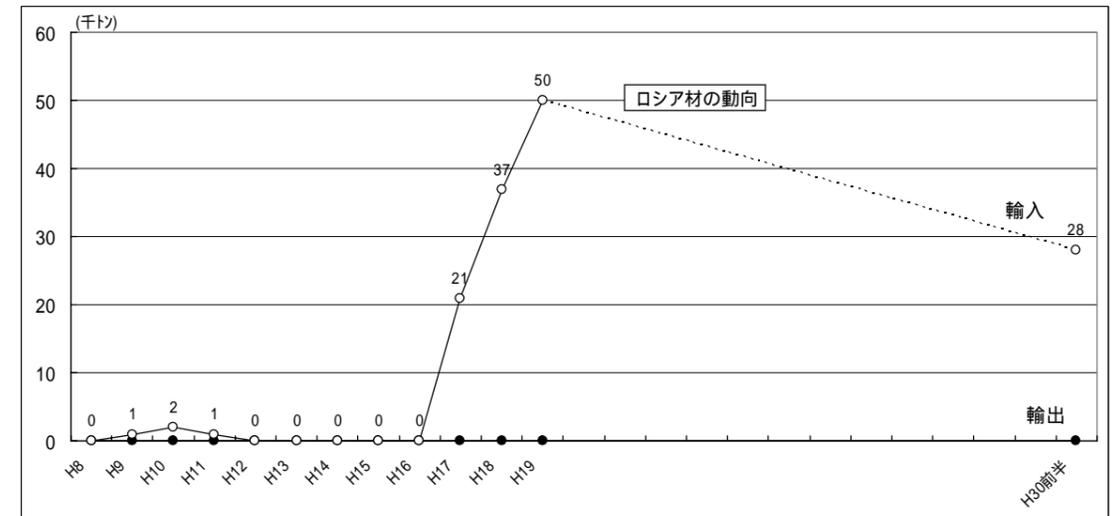
鋼材



金属くず



原木



( 4 ) 公共埠頭計画の必要性

今回の計画において、外貿公共一般貨物の大幅な増加(619千トン 866千トン)が見込まれることから、新たな岸壁の必要性について検討を行う。

( 5 ) 公共埠頭の必要延長及び必要バース数の検討

大型バースが必要な外貿公共一般貨物の必要延長

品目別岸壁必要延長

品目	輸出入	H19 貨物量 (千トン)	将来貨物量 (千トン)	m当たり 取扱量 (トン/m)	岸壁必要延長 / (m)
原木	輸入	50	28	1,000	28
鉄鋼	輸入	26	46	1,200	38
鋼材	輸出	68	360	1,200	300
金属くず	輸出	15	23	1,200	19
	輸入	169	223	1,200	186
中古車	輸出	0	66	3,600	18
合計		328	746		589

注:鋼材は特区貨物

必要バース数の検討

$$589\text{m} \div 240\text{m} / \text{バース} = 2.5 \text{ バース}$$

## 8 - 2 旅客船埠頭計画

### (1) 対象船舶

対象船舶は、水深 3m で入港でき、既定計画の旅客船ふ頭でも対象船舶としている「シンフォニークラシカ」とする。

船種	船名	船長	船幅	満載喫水	定員	運航会社
レストラン船	シンフォニークラシカ	70.0m	10.5m	2.57m	450名	(株)シーライン東京

### 【参考：東京湾内に就航している主なレストラン船】

	船名	総トン数	全長	船幅	喫水	旅客定員	運航会社
東京港	シンフォニーモデルナ	2,618ト	83.2m	13.0m	2.8m	600名	(株)シーライン東京
	ヴァンテアン	1,717ト	64.0m	13.0m	2.41m	690名	東京ヴァンテアンクルーズ(株)
	シンフォニークラシカ	1,100ト	70.0m	10.5m	2.57m	450名	(株)シーライン東京
	レディクリスタル	346ト	46.6m	8.8m	2.1m	140名	(株)クリスタルヨットクラブ
横浜港	ロイヤルウィング	2,872ト	86.7m	13.4m	3.5m	630名	(株)ロイヤルウィング
	マリーンルージュ	683ト	52.14m	9.8m	2.8m	330名	(株)ポートサービス
	マリーンシャトル	764ト	46.17m	10.2m	2.8m	541名	(株)ポートサービス

シンフォニークラシカ



シンフォニーモデルナ



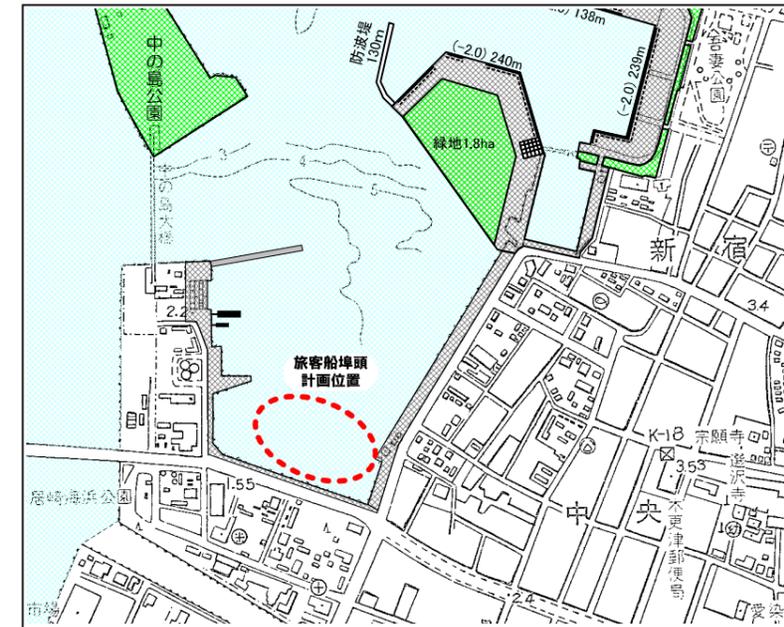
ヴァンテアン



レディクリスタル



### (2) 整備計画位置



### (3) 必要規模の検討

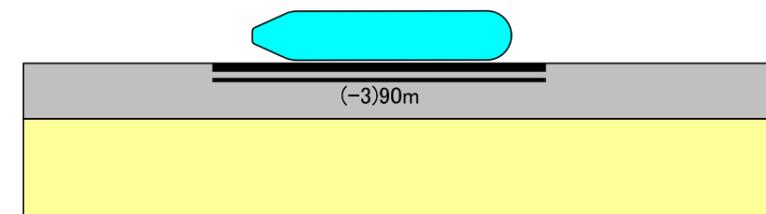
必要岸壁延長

$$\text{岸壁延長} = \text{船長} \times 1.2 = 70.0\text{m} \times 1.2 = 90.0\text{m}$$

必要水深

$$\text{岸壁水深} = \text{吃水} \times 1.1 = 2.57\text{m} \times 1.1 = 3.0\text{m}$$

### (4) 整備計画図



### 8 - 3 小型船だまり計画

#### 8 - 3 - 1 ガット船等収容計画

##### ( 1 ) 収容隻数の設定

- ガット船 : 50 隻と設定
- タグボート : 5 隻
- 巡視船 : 1 隻

##### ( 2 ) 計画対象船型

標準船型

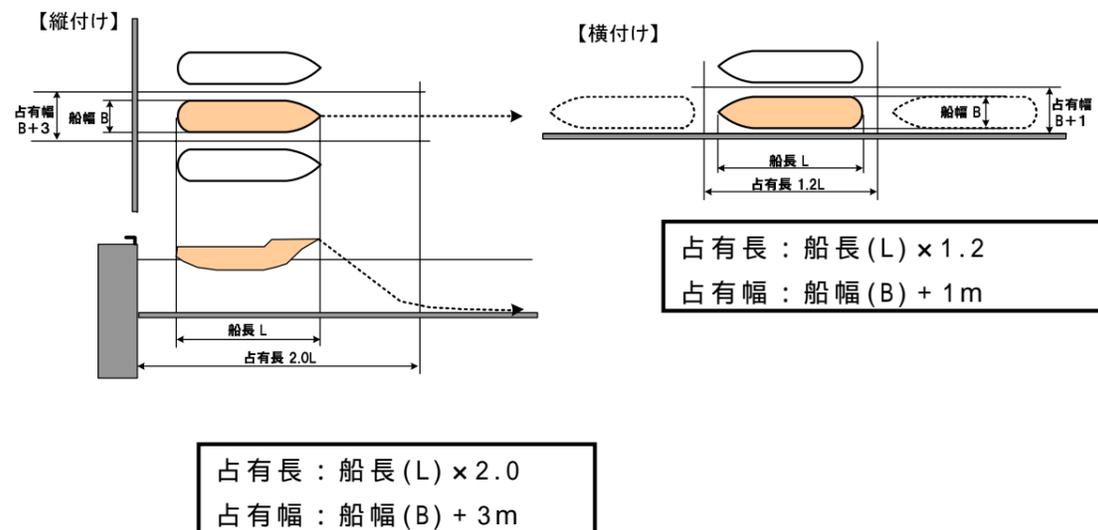
	総トン数	船長	船幅
ガット船	500 総ト	50m	12m
タグボート	243 総ト	36.2m	9.8m
巡視船	23 総ト	20m	4.3m

##### ( 3 ) 収容・係留施設別収容隻数

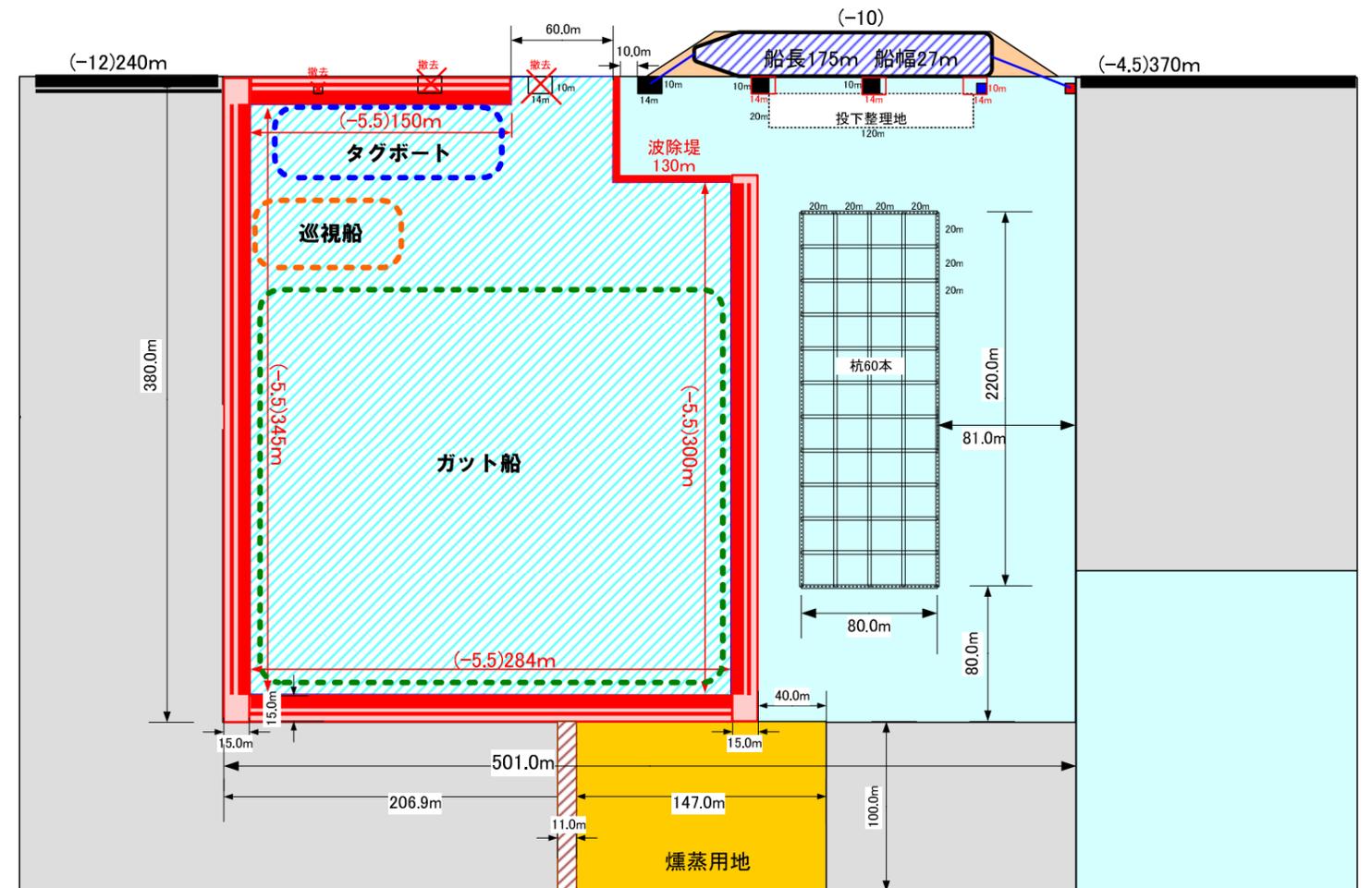
収容・係留場所別収容隻数

収容・係留場所	収容隻数		
	ガット船	タグボート	巡視船
水面整理場【新規】	34 隻	5 隻	1 隻
既設岸壁利用	16 隻		
合計	50 隻	5 隻	1 隻

##### ( 4 ) 必要規模の算定



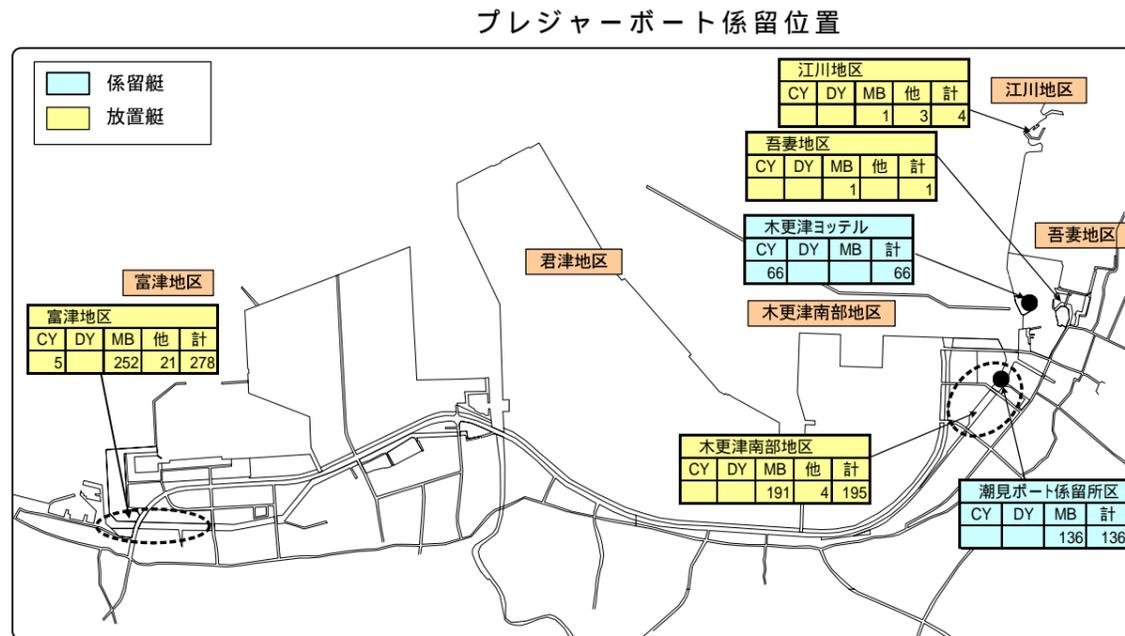
水面整理場収容計画図



8-3-2 プレジャーボート収容計画

(1) 収容隻数の設定

プレジャーボート係留状況

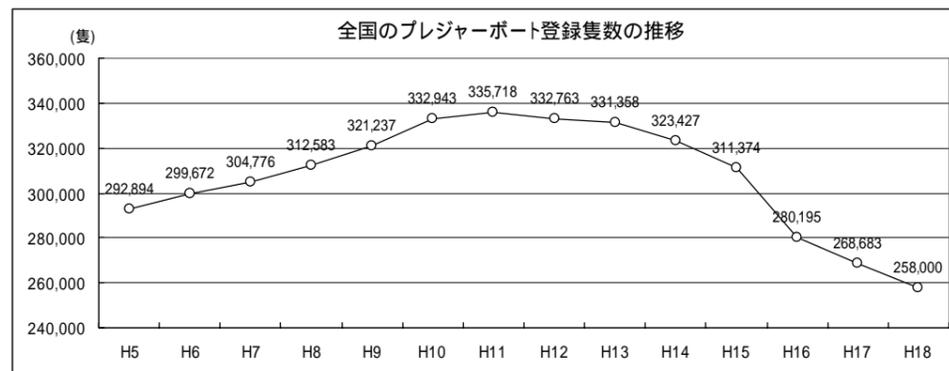


収容隻数の設定

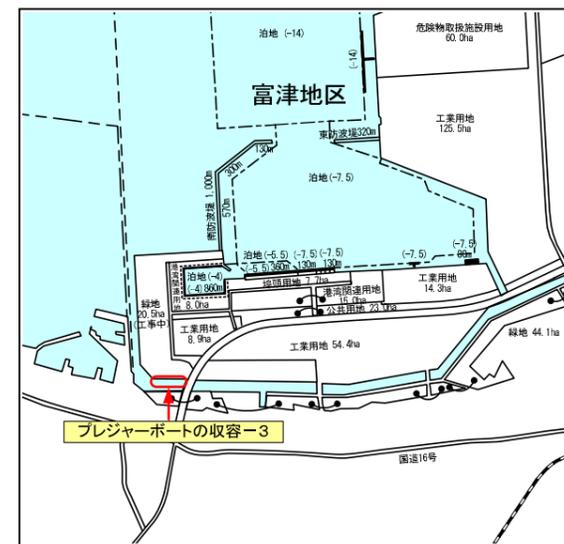
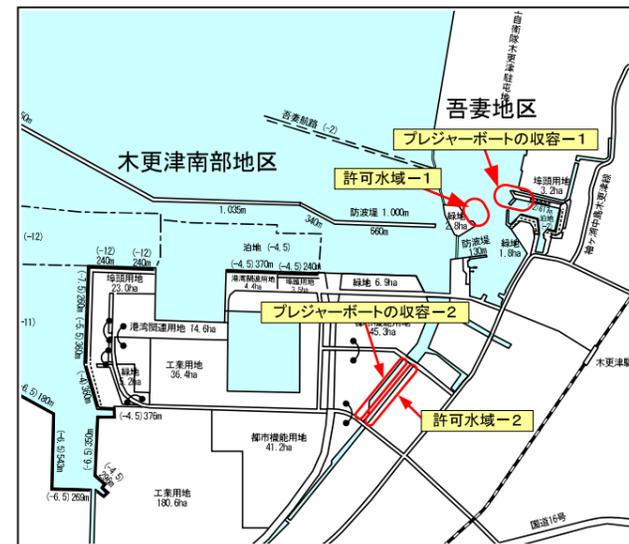
	隻数
許可水域係留隻数	202隻
放置艇	478隻
合計	680隻

【参考：全国のプレジャーボート登録隻数の推移】

平成12年3月の港湾法改正による放置艇への規制強化



(2) 整備計画位置



(3) 地区別収容隻数

実績	水面許可艇		放置艇	
	木更津ヨット	潮見ボート係留所区		
H19	680隻	66隻	136隻	478隻
				202隻

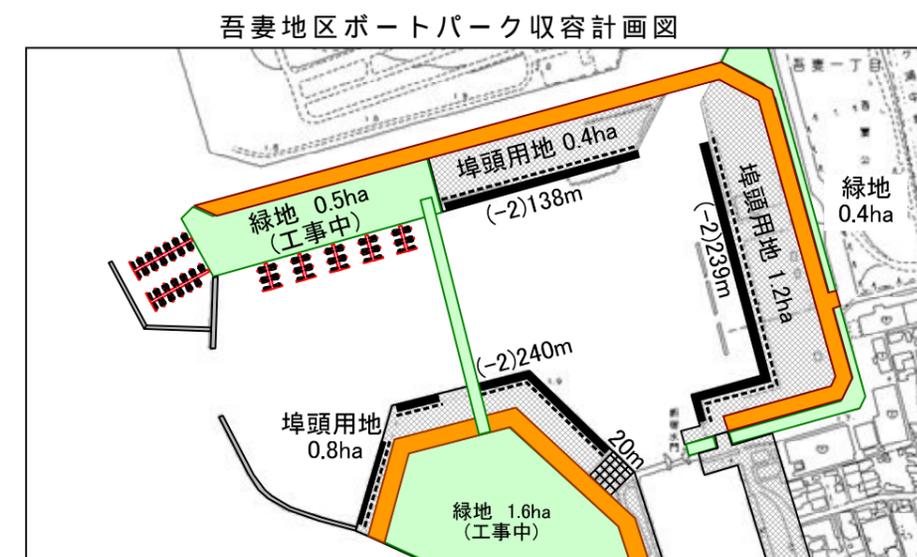
  

収容隻数	水面許可艇		潮浜船だまり	新富船だまり	吾妻地区ボートパーク	
	木更津ヨット	潮見ボート係留所区				
H32	680隻	68隻	169隻	190隻	60隻 (将来構想93隻)	100隻
			既定計画190隻	既定計画60隻		

(4) 必要規模の検討

	1隻当り 棧橋延長	収容 隻数	必要棧橋 延長	備考
吾妻地区ボートパーク	3.5m/隻	100隻	350m	
潮浜船だまり	3.0m/隻	190隻	570m	
新富船だまり	3.0m/隻	60隻	180m	
	3.0m/隻	93隻	279m	将来構想

(5) 整備計画図

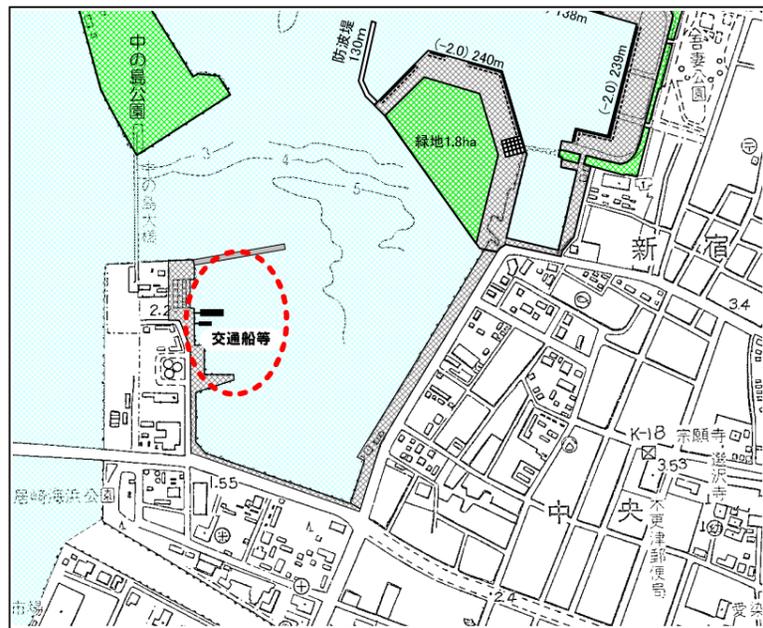


8 - 3 - 3 交通船等収容計画

( 1 ) 収容隻数の設定

用途	隻数
交通船等	36 隻
工事監督船	1 隻
清掃船	1 隻
その他	8 隻
計	46 隻

( 2 ) 整備計画位置



( 3 ) 必要規模の検討

船種	隻数	船長計	必要棧橋延長
交通船等	36 隻	383.6m	460.3m
工事監督船	1 隻	9.2m	11.0m
清掃船	1 隻	13.4m	16.1m
その他	8 隻	50.0m	60.0m
計	46 隻	456.2m	547.4m

( 4 ) 整備計画図

既存のポンツーンを活用することにより、新規に整備する棧橋の延長は 505m

